

# 2020年は、「組織代表者会議」です。

6月12日(金)11:00～

## 定期総会は、隔年開催です。

日退教は、昨年6月7日の第48回総会において、「定期総会の隔年開催」を決定しました。その結果、活動方針は2年ごとに決定しますが、決算・予算は毎年の承認・決定が必要となることから、新たに設置する「組織代表者会議」の権能を整理し、必要な会則改定になりますが、2020年度は下記のとおり、ブロック代表者会議の確認に基づき開催します。

### 2019年度活動方針

5. 組織の拡大、強化のとりくみ

9) 日退教運動の拡がりとおと財政状況を踏まえ、組織・財政を見直します。

- ①定期総会は隔年開催とし、定期総会を開催しない年は、組織代表者会議を開催し、当面の活動を確認します。組織代表者会議の構成は、各単会1（組織代表者）、ブロック女性代表者各ブロック1とします。

- 〔ブロック代表者会議（書面）確認〕  
2020年3月3日  
(1)開催日…2020年6月12日（金）  
11:00～16:00  
(2)議長は定期総会に準じ、ブロック順とします。今年度は中国ブロック、四国ブロックから選任します（うち最低1名は女性とします）  
(3)主な協議題は、①2019年度決算案、2020年度予算案の審議、承認②2019年度定期総会決定『2019年度活動方針』に基づく『当面の活動について』の確認とします。  
(4)会議の構成は、各単会代表者1名、各ブロック女性代表者1名とします。単会代表者会議への女性の積極的な参加を求めます。  
(5)会議の日程  
①定期総会に準じます。②来賓を招聘します。③2019年度「経過

なお、これらはブロック代表者会議（3月3日 書面）段階での決定ですが、新型コロナウイルスの關係で開催するかどうかを含め、4月下旬に連絡をします。

- 報告」、2020年度「当面の活動」を一括提起し、それに対する質疑討論も一括行います。④2019年度決算、2020年度予算は2019年度第2回ブロック代表者会議（書面）の確認により、決議事項とします。  
(6)「2019年度経過報告、2020年度当面の活動」案については原案を5月連休明けに各単会宛送付します。ブロック代表者、役員には草案を4月中旬に送付し、それぞれ検討いただき、当日提案する協議題（案）に反映します。

### 2020年度の組織代表者会議の開催について

No. 390

2020.4

日本退職教職員協議会

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館5F  
発行責任者 竹田邦明  
TEL 03(5275)2197 FAX 03(5275)2081  
Email nitaikyoyo@gmail.com ホームページURL <http://www.nitaikyoyo.com>



wamって何？

1月30日、日退教ジェンダー平等部会の「wam見学会」に参加しました。wam（アクティブミュージアム「私たちの戦争と平和資料館」）は、「日本軍性奴隷制の責任者を裁く」ために東京で開催された「女性国際戦犯法廷」を主導した故松井やよりさんの遺志を受け継ぎ、2005年西早稲田にオープンしました。①ジェンダー正義の視点で戦時性暴力に焦点をあて、②被害と同時に加害責任を明確に、③平和と非暴力の活動の拠点を目指し、④民衆運動と推進するという5つの基本理念で運営されています（wamリーフレットより）。私は運営に携わる友人がいたこともあり、当初より会員でしたが、来館するたびに入口の元「慰安婦」たちの写真に白いバラが増えていることにまず胸をうたれます。今回は、たくさんの写真の中から、2019年10月の日退教の韓国ツアー「ナムの家」訪問でお会いして、証言を聞いたイ・オクスンさんの写真と再会しました。

日本軍慰安所マップ—ぜひアクセス—  
スしてみてください

wamでは、「日本軍慰安所マップ」の更新を行い、昨年12月ウェブ上（wamのホームページ）で公開しました。今回のアップデイト作業では、「日本軍性奴隷制」の実態を明らかにするために、資料・証言その他、根拠の明らかな「日本軍の設置・関与した慰安所」に絞って地図上に落としました。まず慰安所の存在を示すアジア太平洋地域の大きな地図。日本軍の侵略地域の広がり、その先々で慰安所を設置していった様子がわかります。地図上の国名をクリックすると、その国に日本軍が設置した慰安所に関する出典データ資料が出てきます。学問的にも吟味された典拠を示し、研究資料として、教材として活用することを可能にしたマップ公開の意義は大きいです。軍の関与がなかったと思っている人たちこそ、ぜひアクセスして、国ごとのデータまで見ていただきたい。

「朝鮮人『慰安婦』の声をきく—日本の植民地支配の責任を果たすために—」

特別展示の中心は183名のハルモニの「声」のパネルです。パネルには一人ひとりの生い立ち、

「慰安婦」にされたきつかけや被害、戦後の様子、メッセージが500字以内にとめられています。どの記述も丁寧で典拠がつけられています。名前を持つ一人一人の「被害」を歴史の証言として、正確にリアルに残さねばというスタップの丁寧な作業と息を感じます。そしてどのパネルからも凄惨な「慰安婦」としての被害は勿論、困難な戦後を生き抜かなければならなかったハルモニたちの怒りのメッセージが伝わってきます。「慰安婦」の一人ひとりと出会い直し、向き合うことをwamの空間は迫ります。

別コーナーの「日本の朝鮮侵略・植民地支配と日本軍『慰安婦』制度」『朝鮮の女性たちの闘い』の展示も充実しています。コンパクトに日本が植民地支配責任を果たすために学ぶべきことは何かを考え抜いた展示となっています。さらに女性たちが、ベトナム戦争の加害責任、韓国の基地での性被害に向きあう姿も胸に迫ります。4月刊行という展示のカタログが待ち望まれます。

（神奈川高教組シニア運動

樋浦敬子）

# 2019年ジェンダー平等委員会報告

報告 本村富美子

2019年12月5日、ジェンダー平等委員会が行われました。全国のブロック代表、ジェンダー平等部会、組織部会など17単会21名の参加でした。最初にブロック代表のジェンダー平等「状況報告」がありました。

北海道…年1回女性代表者の会を行い、24退教の

状況や取り組み交流をし、つながりを深めていく。退職者連合の副会長に、今年初めて日退教の女性になった。

東北…宮城県教組の行事には日退教と退女教が共に

に参加している。現役は2年前まで女性委員長だったし、女性組合員のほうが多数で活躍している。

関東…役員中女性は2人。男性にとって介護は他人事だけど、私は母の介護をしている現実を、女性たちと交流したい。

北陸…年1回のブロック総会がやつとで、ジェン

ダー平等に取り組めていない。新潟・福井は退女教と合同でうまくいっている。富山は女性が3名なので、役員に入ってもらいたいのが、難しい。

東海…愛知退連は女性3名が副会長ということが、定着している。地域の活動ではジェンダー平等や人権の講演会が増えている。

LGBT当事者が講演している。性別の欄を空欄にして、自分で書いてもらう取り組みもある。

近畿…ほとんどが統合県。奈良は女人禁制の大峰

山の学習を退女教が行った。滋賀は会長も

事務局長も女性。男性も含めて「おりはなの講習」や野党共闘候補選挙を頑張った。男性とは張り合わずに、切磋琢磨することが必要。

中国…11月ブロック総会（県5+高2）に初めて

女性2名が参加した。山口の副会長・広島高の事務局長だった。岡山・広島・鳥取では退女教が頑張っている。広島高の取り組みを紹介する。（資料）

四国…愛媛は会員が3〜40名と少なく、高齢の人が多いため役員へのお願いも難しい。

高知はジェンダー平等の取り組みがある。退女教には、日教組も含めて、男が役員をとってしまい、女が隅においやられることへの批判があるのではないかな。

九州…鹿児島・長崎は退女教。大分は両方の活動をしているが、それぞれ会費があるので、一緒になってくれるとありがたい。3月のブロック総会でジェンダー平等の具体的な取り組みをしようと思う。

その後の意見交換では、退女教との一緒に活動が難しいことや、学校現場での外国人生徒の教育

の困難さや、単会の議案書にジェンダー平等がはいつているか調査を！などの意見・要望がありました。

次に日退教の組織アンケートより、ジェンダー平等の状況報告がありました。総会女性代議員の数は、91名中15名と昨年より2名減っていますが、組織活動交流集会へのレポート提出や参加は増えています。集会に女性が参加し、意見を言うというところが少しずつ実現されています。また女性役員は6単会増え43単会になりました。そして女性の会長・事務局長も6単会増えました。しかし女性役員がいない単会も昨年とほぼ同じ18単会でした。ジェンダー平等を方針にしているのは15単会でした。

最後に、ILO条約とハラスメント規制法の問題を学習しました。国内法の問題点は、ハラスメントを禁止していないこと、対象を職場に限定しているため、弱い立場の就活生やフリーランスの人たちへのハラスメントが、野放しになっていることなどです。

日退教では、12月厚労省パワハラ指針案に対して、上記の批判をパブリックコメントとして送付しました。

新年になって、愛媛退教と埼玉退教のニュースにジェンダー平等委員会と性暴力学習会の報告が掲載されたとお便りが届きました。ありがとうございます。

単会ニュース等に学習会等の報告がありましたら、ぜひ日退教までメール等でお送りください。

# カンパ、「領土」パンフの中間報告

2019年度も、全国各地で安倍内閣の改憲反対闘争、沖縄辺野古新基地建設反対闘争、脱原発闘争、IR反対闘争そして桜を見る会疑惑究明闘争など、運動を展開してきました。また、地球温暖化の影響によるとみられる台風や豪雨が各地を襲い、大きな被害を起しました。

日退教は、第48回総会でカンパをお願いしましたが、中間報告をします。なお、集約が翌年度になる単会がありますが、それは、翌年度会計に報告をします。

当面、組織代表者会議（6月12日）で報告ができるように、未納の単会は5月末までに納入をお願いします。

2020年3月23日現在

## 台風被害見舞金支払い

岩手	32万円
宮城	4万円
千葉	8万円
静岡	10万円
佐賀	22万円
長崎	2万円
千葉高	14万円
茨城	10万円
福島	70万円



## 2019闘争カンパ

納入単会	金額
25単会	150万円

## 台風15号・19号支援カンパ

納入単会	金額
36単会	204万円

## パンフレット申込み

単会数	冊数
27単会	617部

「領土」パンフも、昨年の第48回総会で決定しています。3月現在、まだ半数の単会から申し込みがありません。是非、組織代表者会議までに、申し込みをお願いします。

## ◆編集後記◆

コロナ一辺倒の日々である。人びとの不安は増すが、マスクも消毒用アルコールも手に入らず、一時期はトイレットペーパーさえも店先から消えた。そんな中、安倍首相が突如、全国の小・中・高・特別支援学校に一斉休校の要請をしたのが2月27日、対策が後手後手だと批判され、〇やつてる感〇のアピールと受け止めた人も多かったと思うが、世の中は一気に自粛ムードへと向かった。

イベントの中止が相次ぎ、店舗・宿泊施設では客が激減している。経済活動の停滞に伴い中小企業の経営者は資金繰りに追われ、自宅待機を命じられた労働者、就職内定を取り消された大学生まで出る始末。中でも非正規雇用の労働者や、フリーランス、シングルマザーなどは生活苦にさらされているが、そういった人びとへの有効な支援は見えてこない。連日、海外での感染者の拡大が報じられているが、日本では患者数を増やさなためか、多くの人が望んでいるPCR検査が抑えられている。3月19日、専門家会議は、国内の感染は一定程度抑えられているが「オーバーシュート」（爆発的な患者急増）の警戒が必要という訳のわからない見解を出している。それもこれもオリンピックを「完全な形」で実施したい政府の意向と考えれば筋が通る。強行のあけく無観客試合どころか、無アスリート競技”になっ”てしまわないかと危惧している。

(M)